

中学生におすすめの本
2020

ブック セレクション



酒々井町立図書館

『雲と鉛筆』 ティ913ヨ

吉田篤弘／著 筑摩書房

ぼくは屋根裏部屋に住み、鉛筆工場で働いている。鉛筆で夜空の移りゆく雲を描き、休日には街に出かけて本を買い、理髪店に寄り、画廊に入る。淡々とした日常の中で、人生を語る友人や贋作ばかり展示する画廊の主人など風変わりな人物たちと出会う。

「ぼく」の日常を通して、人生で大事なことは何かを考えたいくなる一冊。



『徳治郎とボク』 ティ913ハ

花形みつる／著 理論社

ボクのおじいちゃん・徳治郎はひと癖ある頑固者。周囲は手を焼いているけれど、おじいちゃんがガキ大将だったころの話を聞かたび、ボクはおじいちゃんのことを好きになっていって…。

身近で親しみのある人の老いと生きざまを見ながら成長して大人になっていく少年の姿を、自然や歴史の描写を織り交ぜながら綴った物語です。



『銀色のマーメイド』 B913フ

古内一絵／著 中央公論新社

主将を失いバラバラになってしまった弓が丘第一中学水泳部。顧問から廃部を勧められた龍一は、「水泳部を再建してメドレーリレーで優勝して見せる」と啖呵を切ってしまう。けれど水泳部に残っていたのは、飛び込みも息継ぎもできないような部員ばかりで…。



『命の意味 命のしるし』 ティ910ウ

上橋菜穂子、斎藤慶輔／著 講談社

多文化社会の中ではざまに立たされた人々の「それでも自分はこう生きてみたい」という願いを込めて『獣の奏者』を綴った上橋菜穂子さんと、「野のものは野に返したい」と野生動物との共生の道を探す“リアル”獣の奏者である獣医師・斎藤慶輔さんとの、命の話。人と人、人と自然の関係を見つめてきた二人が問う、命の意味とは。



『「未完成」なぼくらの、生徒会』

麻希一樹／著 KADOKAWA ティ913マ

舞台は今年から共学になった元男子校の神南学院高等部。とある“秘密”を抱えた新入生の葵は、個性的なメンバーが揃う生徒会に強引に入れられます。やがて、彼らと葵をつなぐ共通点が明らかになり…。

夢・性格・恋・家族に悩みを抱える4人の高校生に順にスポットをあて、物語が綴られます。生徒同士の交流やにぎやかな学校の様子が描かれた楽しい一冊です。



『「国語」から旅立って』 ティ914オ

温又柔／著 新曜社

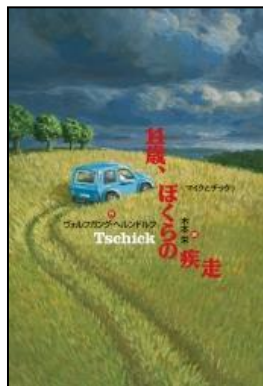
「わたしの“国語”は何語なんだろう？」幼いころから日本に住んでいる台湾人の著者は、台湾の公用語である中国語より日本語のほうが得意でした。中国語を学び留学もしたけれど中々上達せず、劣等感と焦燥感を引きずります。著者が小説家になるまでの悩みや迷い、嬉しかったこと、つらかったことが丁寧に綴られた一冊。



『14歳、ぼくらの疾走』 ティ 943 へ

ヴォルフガング・ヘルンドルフ／著 小峰書店

アル中の母と家庭を顧みない父を持ち、学校でも浮いた存在のマイク。夏休みに、転校生の不良少年チックから盗難車に乗って旅に出ようと誘われます。アイスバーンを走り抜ける解放感、次々襲ってくるトラブル、謎の少女イザとの出会い…。14歳の少年二人が無謀な冒険を経て成長する、痛快で切ないひと夏の物語です。



『ローズの小さな図書館』 ティ 933 ホ

キンバリー・ウィリス・ホルト／作 徳間書店

アメリカ南部の片田舎に住む14歳のローズは、家族のために年齢を偽って移動図書館の運転手として働き始めます。やむなく進学を諦めたローズでしたが、作家になる夢は忘れていませんでした…。

彼女から始まる四世代の家族の絆と、本への愛情が描かれた物語。パール・S・バックの「大地」やJ・K・ローリングの「ハリー・ポッター」まで、各時代を彩った名作本が登場します。



『怪盗ルパン謎の旅行者』 兎 953 ル

モーリス・ルブラン／作 理論社

生まれながらの盗みの天才、変装の名人にして神出鬼没の怪盗・ルパン。パリからノルマンディー地方に逃れるルパンが、列車で出会った怪しげな男と対決する「謎の旅行者」など、4つの短編が入っています。軽妙で温かみのある絵が魅力的な一冊。



『モンタギューおじさんの怖い話』

ティ 933 フ

クリス・プリーストリー／著 理論社

怖い話が聞きたい一心で森はずれのモンタギューおじさんの屋敷を訪れたエドガー少年。開かぬドア、悪魔の彫刻、砂漠をさまよう精霊…。時折感じる気配や影におびえながらも、おじさんが語る不気味な逸話に引き込まれていきます。背筋が凍るホラーファンタジー。



『名探偵ホームズ踊る人形』

ティ 933 ド

アーサー・コナン・ドイル／著 理論社

物語は、若い女性がホームズに事件の究明を依頼するところから始まります。彼女の姉は結婚直前に寝室で謎の死を遂げました。まだらのひもという言葉を残して。姉の死から 2 年後、彼女は死が迫ってくる恐怖を覚えます。姉も聞いたという夜中の口笛が聞こえてきたからです。ホームズは彼女を救えるのでしょうか。「まだらの紐」をはじめ、「踊る人形」など世界一有名な探偵シャーロック・ホームズの短編全 4 編が収録されています。



『これからを生きる君へ』

ティ 289 ア

天野篤／著 毎日新聞出版

医学部を目指して 3 浪、そして平成天皇の執刀医へ——。数々の挫折を乗り越えてきた著者が、今までの生き方や経験を振り返り、将来夢をかなえるための心構えを教えてください。失敗を重ねながらも、どうやって逆境に立ち向かい、どう歩んでいけばいいのか。若い世代へ向けた熱いメッセージが込められています。



『ヒトは「いじめ」をやめられない』

中野信子／監修 小学館 361マ

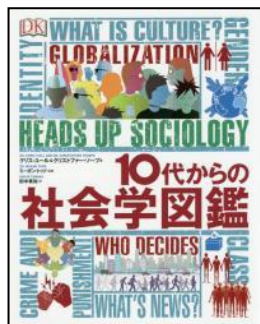
「いじめ」をやめられないことには実は理由があった！ヒトはなぜ「いじめ」を行うのか、どんなに時代が変わっても無くならないのはなぜか。そのメカニズムを分析し、脳科学的観点から「いじめ」の回避方法をマンガでわかりやすく解説します。子どもも大人も先生も読んでほしい一冊。



『10代からの社会学図鑑』 ティ 361 ヲ

クリス・ユール、クリストファー・ソープ／著 三省堂

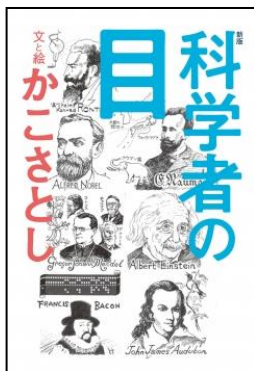
「どうして世界はこんなに不公平？」「家族ってどういう意味？」世の中の当たり前や常識の多くは、時代や社会のありかたによって規定されています。そんな社会の仕組みについて、フルカラーの図とイラストを豊富に用いて解説します。読み終えた頃には、今までとは違った角度から世の中を見ることができでしょう。



『科学者の目』 児 402 カ

かこさとし／文・絵 童心社

医学・天文・地質・生物学・原子物理学など偉大な発明発見をした41人の科学者たち。彼らの着眼点やユニークな考え方、論理的科学的な思考力のどこがすごいのかを「からすのパンやさん」「だるまちゃん」シリーズでおなじみのかこさとしさんがわかりやすく解説します。朝読書にもぴったりの伝記集です。



『統計ってなんの役に立つの?』

涌井良幸／著 誠文堂新光社 見417ワ

統計は、ニュースや広告で登場するアンケート結果などのデータ、サイコロやカードを使ったゲームなどに使われています。身近な例を取り上げ、統計の正しい見方を楽しいイラストや図を交えて紹介します。足し算・引き算・かけ算・わり算を使って、統計やデータのウソ・ホントを見抜いてみましょう。



『宮沢賢治の元素図鑑』 431 サ

桜井弘／著 化学同人

詩人・童話作家として有名な宮沢賢治は、鉱物や地質について研究する科学者でもありました。幼い頃から石に親しんでいた彼の作品には、たくさんの元素や宝石の名前がちりばめられています。この本では、賢治の作品とそこに登場する元素やそれを含む鉱物について、フルカラーの写真とともに解説されています。科学の観点から宮沢賢治の世界をのぞいてみませんか？



『ホームレス中学生』 779 タ

田村裕／著 ワニブックス

中学2年の1学期最後の日、13歳の僕は突然家を失った——。終業式を終えて帰宅すると家は差し押さえられており、父からはまさかの解散宣言。早くに母を亡くし一人ぼっちになってしまった僕が、生きてゆかねばと向かった先は…？笑って泣ける、麒麟・田村裕の有名すぎるほど有名な自叙伝。

